

議会の「あれこれ」 知ってください！

下諏訪町議会は、3つの一部事務組合議会と諏訪広域連合議会に所属する議員を議会内での選挙により選出しています。今回は、それらの一部事務組合議会をご紹介します。

「一部事務組合」「広域連合」って、なに？

一部事務組合と広域連合は、複数の地方公共団体が特定の事務を共同で処理するための特別地方公共団体です。広域連合は、一部事務組合より広範囲な事務を扱う仕組みであり、より多角的な行政目的を達成できる点が異なります。



湖北行政事務組合



岡谷市・下諏訪町・辰野町の3市町で構成し、湖北衛生センター（平成3年4月稼働）と湖北火葬場（湖風苑・平成21年12月完成）を運営しています。

組合長は岡谷市長、副組合長を下諏訪町長、辰野町長、岡谷市副市長が務めます。議員定数は岡谷市9人、下諏訪町4人、辰野町4人の計17人。年2回の定例会が、岡谷市議会の議場で開かれます。

現在、下諏訪町からは、中山透議長、林吉広議員、林元夫議員、金井敬子議員が選出されています。中山透議長は、監査委員を務めています。

諏訪広域連合

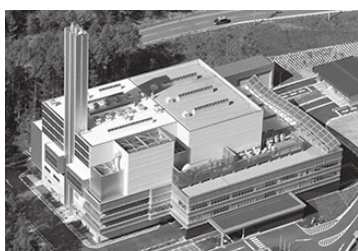


岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村の6市町村で構成されます。取り扱う事務は、①諏訪地域の広域行政の推進②諏訪地域ふるさと振興基金事業の実施③救護施設八ヶ岳寮の設置、管理、運営④介護保険⑤消防（消防団、消防水利施設等は除く）⑥その他。

広域連合長は諏訪市長、副広域連合長を他5自治体の首長が務めます。議員定数は諏訪市5人、岡谷市5人、茅野市5人、下諏訪町3人、富士見町2人、原村2人の計22人。年2回の定例会が諏訪市議会の議場で開かれ、毎回5人が一般質問を行えます。総務消防と福祉環境の2常任委員会があります。

現在、下諏訪町からは、中山透議長（福祉環境）、松井節夫副議長（総務消防）、野沢弘子議員（福祉環境）が選出されています。中山透議長は、副議長を務めています。

湖周行政事務組合



岡谷市・諏訪市・下諏訪町の3市町で構成し、諏訪湖周クリーンセンター（愛称ecoポップ・平成23年9月設立）を運営しています。

組合長は岡谷市長、副組合長を諏訪市長、下諏訪町長、岡谷市副市長が務めます。議員定数は岡谷市4人、諏訪市4人・下諏訪町4人の計12人。年2回の定例会が、岡谷市議会の議場で開かれます。現在、下諏訪町からは、中山透議長、竹元完奈議員、高橋幸二議員、樽川信仁議員が選出されています。中山透議長は、監査委員を務めています。

諏訪湖周クリーンセンターより発生する焼却灰を埋め立てるための最終処分場を整備予定ですが、建設地が決まらない課題を抱えています。

諏訪広域公立大学事務組合

岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村の6市町村で構成され、2018年開学した公立大学法人公立諏訪東京理科大学を運営しています。諏訪東京理科大学は、以前は学校法人経営でしたが、地方公共団体の運営になりました。

組合長は茅野市長、副組合長を他5自治体の首長と茅野市副市長が務めます。議員定数は茅野市8人、諏訪市3人、岡谷市3人、下諏訪町2人、富士見町2人、原村2人の計20人。年2回の定例会が茅野市議会の議場で開かれます。現在、下諏訪町からは、中山透議長、大橋和子議員が選出されています。